

## 議 事 録

会議の名称	(仮称) 中根・金田台地区小学校開校に関する報告会
開催日時	令和4年11月19日(土) 開会 10:00 閉会 11:10
開催場所	桜総合体育館
事務局(担当課)	教育局 学務課
出席者	<p>地域住民 47名</p> <p>事務局説明者            教育長森田充、教育局長吉沼正美、次長飯泉法男、次長久保田靖彦            学び推進課課長岡田太郎、学務課課長下田裕久、学務課課長補佐川又文江、            教育施設課課長補佐大口勝也、教育施設課係長草間匡人、            教育施設課主事鈴木凌</p>
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開 会</li> <li>2. 教育長あいさつ</li> <li>3. 職員紹介</li> <li>4. 説明事項               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 通学区域について</li> <li>(2) 建設概要について</li> <li>(3) スケジュールについて</li> <li>(4) 新設校開校後の栗原小学校について</li> </ol> </li> <li>5. 質疑応答</li> <li>6. 閉会</li> </ol>
1 開会	
2 教育長あいさつ	<p>みなさん、おはようございます。教育長の森田でございます。本日は、お忙しい中、お休みのところお集まりいただきましてありがとうございます。また、つくば市の教育のために、皆様のご理解、ご支援いただいておりますことを感謝申し上げます。みなさん、ご存じのように児童生徒の増加というものがつく</p>

ば市の中でかなりありまして、その一つとして、(仮称)中根・金田台地区小学校を令和8年4月に開校することとしています。この学校の学区については、昨年度つくば市学区審議会というものを開催しまして、地区の代表の方、学校の代表の方にいろいろな意見をいただきまして、みなさんにお示ししているような学区案ができたわけでありまして、学校が変更となる予定の地域の皆様には、ご心配とご苦勞をお掛けし、私たちも申し訳ないという気持ちもありますけれども、どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。中根・金田台地区は、非常に自然に恵まれ、商業施設なども整ってきて、つくばエクスプレスからも近いということで、大変良い場所ということで、今後も人口の増加が予想される地区となっています。子どもたちが、自然に触れながら、そしてしっかりとした学びができるように、新しい学校のほうも、安心安全で子どもたちにとって幸せな学びができるように私たちは全力を挙げて対応していくつもりであります。つくば市の教育大綱は、みなさんご存じだとおもひますけれども、一人ひとりが幸せな人生を送ることを最上位の目標としております。各学校とも、この幸せが実感できるような学校にしよう、将来幸せに生きることができるような力をしっかりとつけていこうと励んでいます、これからも(仮称)中根・金田台地区小学校についても、そのような学校づくりに努めてまいりたいと思ひます。元の、九重小、栄小、栗原小も伝統のあるとても素晴らしい学校だと私たちも思っていますし、この学校も大事にしたい、この学校もより良い学校に先生方と力を合わせてしていきたいと思っています。色々ご不安な点、ご心配な点あると思ひます。今日の報告を受けまして、何か質問などありましたら、どうぞ遠慮なく申し出ていただければと思ひます。私たちも誠意をもって対応したいと思ひます。本日は、寒い中お時間をいただきますけれども、どうぞよろしくお願ひいたします。

### 3 職員紹介

#### 4 説明事項

(スクリーンを使用し説明)

#### 5 質疑応答

春風台 男性：2点ほど質問があります。学区分割の資料をいただきましたが、学区分割は新しい学校が設立されたあとに、これは確定、強制なのかということ。5年生、6年生の場合、6年生は1年だけ新校舎へいかなければならないのかということ。あともう一つは、建設予定地の西側道路は、春風台の自治会の要望もあって、審議会でも話が出たと思いますが、5、6m幅だと思いますが、昔中央線が入っていて、今、西側の住宅地のほうに歩道帯みたいなアスファルトのラインが引かれていると思うんですけども、歩行者の安全を確保してくださいということで自治会からつくば市に要望がでて、そのようになっているかと思いますが、現状、交通量が多いことと、私自身も通るときに、車が北から南から来ると幅が、歩道のほうに寄せないとすれ違いができないんじゃないかと思うので、今後新校舎が建設された場合、単純に今の栗原小の児童の倍になるので、単純に車両も倍になると考えられるので、前面道路から西側から東側の敷地に入ってくる、北から南から来るのは危ないと思うので、歩車分離したような車両導線を別にするような基本設計が行われているのかお伺いしたいです。

学務課課長：一つ目の質問について、私のほうからご説明させていただきます。学区については、資料でご説明させていただいたとおり答申が出たということでのみなさんにお示しさせていただいたので最終決定というわけではありません。一番最後、いつに最終決定になるかということ、令和8年4月開校ですので、その前の令和7年11月末に、指定の学区になった方のお子さん、新1年生から新6年生のおうちの保護者さんには就学通知というものをお出しします。その就学通知をお出しするには、通学区域と学校の名前が決まっ

ていなければなりませんので、一番最終的には令和7年の9月の議会で学校名を承認していただいて、その9月もしくは10月に、教育委員会の中で、通学区域の規則というものが可決されないと11月に就学通知をお出しできないというのが、一番最後の設定になります。今、答申の中でいただいている通学区域がこれが案で出ていますので、このままいった場合には、ここのお住いの方のお子さん、新1年生から6年生の方に、翌年令和8年4月の学校はここですよという通知をお出しします。原則的にその学校へ行っていただくこととなります。ただし、それ以外の事情で、他の学校を希望するような場合には、つくば市の中では、学区外基準というものがありますので、その基準に基づいて、申請していただいた方々をみなさん審議させていただくような形にはなります。ご質問にありました、5年生、6年生だった場合ということなのですが、同じように来年4月に新しい学校が開校する予定であります。香取台小学校と研究学園小学校、研究学園中学校。この関係で、今回、今月もうすぐですね、この方々を対象とし、新1年生を対象とした就学通知をお出ししますが、それにあわせて、今月11月1日学区外基準というものを一部見直ししました。新たに付け加えたものが、新しい学校に行くお子さん方を対象とした、島名小学校、学園の森に在籍しているお子さんで、今度新しい学校、来年ですね、新6年生になるお子さん方については、引き続き今の島名小学校、学園の森を希望される場合には、申請をしていただくことで、そのまま引き続き在籍することを考慮しますということに基準は見直ししてあります。ただし、これについては開校の年度のみということにしておりますので、6年生のみで新5年生から新1年生については、指定の学校、香取台小学校、研究学園小学校に行ってください。それ以外の学校を希望する場合は、何か申請、例えば、本来なら香取台か研究学園に行かなければならないけれども、ご両親が働いているので、おじいちゃんおばあちゃんに面倒を見ていただかなければいけないので、おじいちゃんおばあちゃんが違う

校区に住んでいるので、そちらに行きたいとか、基準とかいろいろなものがありますので、そういったものを照らし合わせて我々審議しますので、指定の学校以外をご希望の場合は、手続きしていただくこととなりますので、原則的に新しい学校の区域にお住まい、通学区域内にお住まいの方については、新しい学校へ行っていただく。今のように、来年開校する学校、このように基準を変更しましたが、この学校ができるときには、学区が決まった後、そのあとで、この学校とかのお子さんをどうするかという基準を検討するようになると思います。現在のところ、申し訳ないですがここまでの回答ということになります。よろしく申し上げます。

教育局次長：つづきまして、道路の整備というご質問についてですが、以前に、大変朝夕に通り抜けが多いということで、道路に最初センターラインがあったんですが、センターラインを消して、車両のスピードを出さないような対策をしてきたところですが、今後、学校が開校するにあたって、まず第一に考えなければならないのは、当然子どもたちの安全ということですので、道路の整備ということも当然考えなければなりません。道路整備は道路部局が担当していますので、歩道の設置や、道路をどのように整備するかも含めまして道路部局と相談しながら、より安全な方向、周囲に住む皆様にもご迷惑がかからないような道路にできればと考えておりますので、今この段階でどのようなものにしますということとはできないんですが、検討していきますので、よろしく申し上げます。

春風台 女性：2つあります。道路のお話の続きで、赤線で囲んである新しい地区の春風台のそれぞれ両端、それぞれ信号がついていない交差点になります。そちらがすでに危ないということで自治会でも話が上がってまして、ただ、茨城県の中で信号の増設できるのが年に3か所までと聞いているんですね。ここだけで2か所になると、どうしても死亡事故でも起きない限りは、優先順位が上がらないと聞いているんですけども、これについては、開校

までになんとか信号がつけられるようにとか、動いてくださっているのか、進捗とかお伺いしたいことが一つ。それと、中学校の増設なんですけれど、およその時期は見えているのか、それとも全く決まっていない状態なのか教えていただければと思います。

学務課課長：では、信号機の方についてご説明させていただきます。信号機につきましては、新しい学校という今回説明会行いましたけれども、今、つくば市では毎年毎年各学校の通学路点検というのをやっております。こちらについては、現在の学校の中で、例えば今の信号機の設置とか、横断歩道とか、ガードレールつけてほしいというのを学校さんから挙げていただいて、一年に一度合同点検という形で警察さんとか、県道であれば県の土木の方来ていただいたり、市道であれば道路管理課、カーブミラーであれば防犯交通課というところなので、合同で点検をしております。その中で、毎年毎年挙げていただいたものについて回答させていただいているような形で、信号と横断歩道については警察の方が担当になりますので、現場を見ていただいて、そのあと県の公安委員会に上げていただくような形で、県の結果待ちになってしまうということになります。こちらでは、学校さんの要望であれば、お出ししてお願いしていますし、あくまでそれは合同でやることですので、それ以外のものは受け付けないのかというそういうことではないので、他であれば学校さんを通して、直接警察さんとか道路課へお出ししていただくような形で対応をしています。新しい学校についてどうなるかという、先ほどお話しさせていただいた通り、来年開校する学校もそうなんです、開校準備委員会というものを立ち上げて、その中でやっていきます。その中でやる前に、我々職員が朝夕ここが通学路になるかなという場所を、現場を見まして、我々の目線で信号が必要とか、横断歩道が必要とか、カーブミラーが必要とか、防犯灯があった方が良くといったものをこちらでいったん書き出して、それをまずは担当課の方にお願います。そのあと、開校準備委員会を

通して、その委員さんからみなさん保護者さんをお願いさせていただいて、今度はお子さんの目線で、登校班を想定したルートの中で、やはりお子さんの低い目線を見たときに、カーブミラー欲しいかなとか、信号が欲しいかなとか、横断歩道欲しいかなということをもとめてお出しただいて、我々それらを取りまとめて、最後また警察さん等をお願いするような形になります。場所によって、確かに信号機が必要なもの、横断歩道が必要なものが出てくると思いますので、今お話にあった、年に2、3個というのは、警察さんなのか公安さんの中での判断基準なのかわかりませんが、それ以外に横断歩道の設置の場合になると、両サイドにみなさんが待つ場所が、歩行者だまりって言うんですけど、そういう場所がないと横断歩道ができませんよという基準もありますし、交通量とかいろんな問題があると思います。ただ、我々とするともみなさんから要望いただいたものすべてについては、担当課さんに何とかお願いしますよという形でお願ひしていきますので、今後、現場とか見ながら対応していきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

教育施設課課長補佐：次に桜中の今後の対応はということについては、皆様ご存じのとおり、桜中学校は国指定の史跡内にありまして増改築ができないため将来的に増築や老朽化による改修が必要となった場合、(仮称)中根・金田台地区小学校用地へ移転を考えております。移転時期につきましては、建物の老朽化の状況、また、児童生徒も増えてきていることからそれを注視しまして移転及び開校を決定していきたいと思ひますので、今この時点でいつということは申し上げられない状況です。

栗原 女性：資料を見させていただいて、栗原小学校は今後複式学級になっていくということなんですが、そのときに特認校というはじめて聞いたんですけれども、市内の全地区から希望する子どもたちを栗原小学校に入ることでも可能ということを考えているということでしたが、栗原小学校に残る子どもたちにとって、複式学級がどういうふうを受け止めていくのか、私もすご

く不安なんですけれども、子どもの目線に立った場合、新しい小学校を選択するということは、市の方としては考えていらっしゃるのでしょうか。

学務課課長：どちらかの学校を選択できるかのご質問でよろしいでしょうか。現行として、先ほども資料でお話させていただいている通学区域案という学区がこのまま決定になりますと、この区域の方は新しい学校ですよ、栗原小は栗原小ですよということになるので、どちらかを選べるという選択できる地域を設定するということは今のところ考えていませんので、それ以外の、選択ではなくて、例えば新しい学校なのか、他の学校かを希望する学区外という基準で対応していく感じになると思われま。

栗原 女性：それは、例えば複式学級に抵抗があって、通常の標準校への通学を希望するという事で、学区外の申請をすることは可能なのでしょうか。

学務課課長：可能とも、いいですよともお伝え出来ないのは、例えば今お手元の資料で見ていただいて、15 ページですかね。栗原小学校の例えば9年度、10年度、1年生、2年生おひとりですよ。こういった人数の方々が学区外を申請された場合、学年が0になったり、他の学年がどんどん人数が減ることもありますので、こういうことも考えていかなきゃいけないのかなと思いますし、みなさんそれぞれの学校の中の人数もありますし、例えばおひとりがそう思われてもみんながどう思うかということもあると思うんで、みなさんでのお話も必要となりますし、いろいろなことだと思いますので、この中で考えていかなければならないと思いますので、今の段階でお出ししていただくかどうかということにはちょっとお答えできないです。

栗原 女性：どうしても小学校が少人数ですと、中学校に入ったときにものすごい人数の差があって、ギャップがすごい生じてしまうんですね。私自身も栗原小学校の卒業生でして、1クラスしかなかったもので、中学校に入ったときにすごいギャップがあったんですよ。少人数の学校って、みんな仲良くそれは良さがあるんですけども、中学校はその限りではなくて、縦社会



だったり、そういった部分があるので、子どもたちにとっても、その辺をどうメンタル的に影響してくるのかなという部分も、柔軟に考えていただければなと思います。

学務課課長：今、先ほどこの資料でお話した学区審議会での答申ですよと。学区審議会をやっていただくときには、栗原小もそうですし、他の学校も出ていただいて、このデータっていうのも、少し新しいデータですので、審議会の資料を見ていただいた方でも、この人数がいまいちわからなかった方もいらっしゃると思いますし、初めて見る方もいらっしゃると思います。そういうことで今回報告会っていうのをさせていただいてます。これで終わりって言うわけじゃありませんので、こういう答申が出た後で、今後こういう状況なんですよというのを見ていただいて、今後また今日来られない方もいらっしゃいますので、保護者説明会や地域住民説明会行っていきますので、同じようなご意見の方もいらっしゃると思いますし、そうすると、今度学校さんの中で保護者さん、どういう思いですかというところもあると思うので、そういうところも我々いろいろ聞いていきながら、いろいろなことを対応していきたいと思いますし、皆さんの中でも意見を話し合いしてもらいながら、どうしたい、とかいろんなことがあると思うので、保護者さんの中でも話をして頂くということも必要なのかなと思いますので、また今後それは回を重ねながらいろいろ意見を見て進めていきたいなと思います。

学び推進課課長：今ご質問ありがとうございます。小規模校から中学校に行って、3クラス4クラス大きい学校になってと本当にご心配なところだと思います。市内の学校にも、すでに小さい学校から中規模、大規模校の中学校に進級するというお子さんも多々おります。やはり教育として大事なものは、先ほど教育長も申し上げたように一人ひとりの幸せを大切にするというのがつくば市の教育大綱にある一番の目標ですので、そこに主眼を置いて我々の教育というのを進めたいと思います。ということは、中学校に上がっても、例

えそれが小規模だろうが、大規模だろうが、一人ひとりを大切にする、一人ひとりの学びに応じた支援を学校として、していくということを我々は努力していかなければならないと思いますので、こういった対応を一生懸命させていただいて、一人ひとりを大切にしたい教育というものを進めていきたいと思っておりますので、ご理解をよろしくお願ひしたいと思っております。ありがとうございました。

教育長:本当にご心配だと思っておりますね。学区審議会においては栗原小をぜひ残していただきたいという、そういうご意見があつて、こういう答申が出たというふうに私は受け止めております。ですので、栗原小があるという前提で、私たちは考えているわけです。栗原小をできるだけご心配な点を解消できて、良い学校にするためにはどうしたら良いだろうかというところを今考えているわけではあります。かつては小規模から大規模な中学校に行つて全くそこで小と中が切れているという状況の中であつたと思つておりますが、今は9年間桜中学校区の学校の全てがいろんなことを一緒にやりましょうという一貫教育をやっているということで、切れ目をなくしています。一番大きなつくば市全体の考えとしてありますし、小学校同士の交流というのも、先程申し上げたICTの活用で、実際の行事の交流ということも含めて、栗原小学校が1校だけで運営されるということがないようにすることは、今も考えております。保護者の皆様の意見も聞きながら、一番良いあり方をこれから開校までに考えていくということで、私たちは努力したいと思つております。ですので、率直なご意見、こういうことが心配ですという事はお伝えいただければとありがたいなとそんなふうに思います。今日でなかなか結論が出る問題ではありませんので、今後ともよろしくお願ひしたいと思っております。

栗原 女性:いろいろ話が出てるところなんです、やはり少人数の10人にも満たない単学級ですとか、複式学級っていうのが不安っていうのがどうしてもあります。こちら、現状では選べないということなのでこれはお願ひ

になります。テクノパーク桜ですとか上野地区が新設校に移動するという  
ことであれば、栗原地区も希望すれば、新設校に通えるように出来るように検  
討していただけないでしょうか。栗原地区の廃校も含めて考えても良いので  
はないかなと思うところもあります。私自身も栗原小学校の出身ではありま  
すが、やはり自分の子どもが10人以下の人数の単学級で学ぶですとか、複式  
学級になるという事は、やはり自分の仕事柄抵抗があります。これはお願い  
になりますので検討していただければと思います。よろしくお願ひしたいと  
思います。やはりちょっとこういうような状況ですと、栗原地区も過疎化で  
すとか進んでいく、出ていかれてしまう新しい若い世帯も出てくるのではな  
いかなと不安にもなります。今後の栗原地区のことも考えますと、この形が  
本当に望ましいのかなという不安もあります。よろしくご検討のほどお願ひ  
いたします。以上です。

学務課課長:はい、ありがとうございます。ご意見としていただきますので、  
我々も今後も栗原地区の保護者の方、地域の方々皆様のご意見をお伺いし  
ていきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

流星台 男性:学校の敷地内、学校の近くに学童を作っていただけるのかとい  
うことと、希望者が多かった場合に、どこかの学童に仕事が終わるまで見て  
いただける環境を整えることができるのかということをお伺ひしたいです。

教育施設課課長補佐:ありがとうございます。児童クラブ、学童クラブという  
話かと思ひますが、当然学校ができますとそういった心配もあるかと思ひま  
す。地区的には用途地域といった制限もございますので、敷地内に建設が可  
能かということも含めまして、児童クラブ担当部署と今後検討していきたい  
と思ひますので、ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

教育局長:ご質問には明確なお答えとしてはこども部が担当しております。こ  
ども部と打ち合わせをやってまして、学童クラブは少なくとも作る方向で動  
いておりますので、それが具体的なことがわかってきましたらまたお知らせ

をしたいと思います。よろしくお願いします。

栗原 女性:栗原小学校を残すっていうことが大前提になっていますけれども、栗原地区の人たちを新設校のほうに通学できるように、例えばスクールバスを出していただいて通学できるような案ていうのは全く出ていないんでしょうか。案が出ていないのであれば、そういったこともぜひ考えていただきたいなと思います。あともう1点、複式学級というのを栗原小学校で行うようすけれども、今現在つくば市内で複式学級として行っている学校があるんでしょうか。あるんでしたら、その学校の利点なども教えていただきたいと思います。よろしくお願いします。

学務課課長:ご意見ありがとうございます。スクールバスの件なんですけど、現行、つくば市でスクールバスを出しているところは、秀峰筑波の地区になります。今後についてはいろんな地域もありますし、皆さんの意見もあると思いますので、いろんな意見をお伺いして検討していければと思います。

学び推進課課長:ご質問ありがとうございます。市内のほかに複式の学級があるかというご質問なんですけど、かつてはあったんですけども、現在は市内で複式学級をとっている学校はございません。よろしくお願いします。

上ノ室 女性:今回の小学校のところで、中学校を併設する、老朽化とか人数によって進めていく可能性があるという事ですが、私、上ノ室なんで小学校は入ってないんですけど、中学校になったら一緒になるらしいよというお話を聞いて参加させていただいたんですけども、小学校に通っていると思うんですけど、かなり車で送迎する親御さんが非常に多くて、最初の質問の方としても道路の状況どうですかというのがあったんですけど、小学校が九重なんですけど、ロータリーが全くなくて、職員の駐車場も入らないでください、使わないでくださいとなっていて、外の空き地をちょっと使って、先日雨の日に送って行ったら、門が開いていなくて、子どもは結局1人で送って行けずに、そういう状況だったんですけど、中学校も部活であるとか、小学校のお迎えと

か遠いと送るのが自分たちの頃と違って普通になってきている。また登校班に参加せずに常に車で送ってらっしゃる方もいらっしゃるので、周りの交通状況であるとか、中学校になるとかなりの規模になるので、もし併設すると想定されているということであれば、建物自体の大きさであるとか、そういう状況であるとか、先のことも含めて考えていただければなと思っています。

教育施設課課長補佐:当然、送り迎えという形で限りある駐車場の中で送り迎えを行っていくということだと思えるんですけども、新たに建てている新設校につきましても、やはりその辺の駐車場の問題は意見として出ていまして、今後設計にあたりまして新しい学校につきましても、そういった形で駐車場の件も考えていきたいと思っています。既存の学校につきましても、今ある現在の敷地ということになります、これも新しい学校と並行しまして、ないがしろにするということではなくて、並行してきちんと修繕とか運営を行っていくたいと思っていますので、駐車場に限らず、そういったご意見は頂戴しまして、より良い環境作りに努めていきたいと思っていますのでどうぞご理解よろしくをお願いします。

柴崎 男性:新設校に関して、今示された教室数の大きな増築も見据えて設計していくという話だったと思うんですけども、当然現状の人口よりはこれからあの地域かなり増えるだろうと思うんですけども、想定している設計で開校時の大きさ最大規模、その後さらに児童が増えた場合にどこまで大きくできるのか、1学年何クラス位まで大きくできるのかという想定で設計しているのかというところをお伺いしたいんですけども。

教育施設課課長補佐:ありがとうございます。整備教室につきましても、あくまでも現在、設計の段階で予定ですけども、普通教室で25クラス程度、特別支援で3クラス程度を予定しております。特別教室につきましても、理科室、音楽室、図工室、家庭科室、コンピューター室、図書室、相談室等々を予定しておりますが、またその他に多目的室を各学年に1クラス1教室程度整

備する予定でありますので、25クラスプラス6クラスで対応できると考えております。先程も言いましたけれども、設計当初から将来の増築を考慮した配置計画としていると申し上げましたが、それで将来的には対応可能と考えておりますが、将来的な増築の規模ですね、これは児童生徒の推移を見据えまして、検討していければなと考えております。子どもが増えた部分については対応可能ということで進めさせていただきたいと思っております。

桜 男性:本日はまとめていただいてありがとうございます。新校舎についてちょっと質問なんですけど、断熱の性能とか、日射遮蔽とか、要するに、将来的にゼロエネルギー化まで考慮された設計になっているかどうかというところをお伺いしたいと思っております。

教育施設課課長補佐:当然、新しく建てている学校も他にございまして、環境問題、これは充分重視しておりますので、今後の設計段階におきまして、ゼロカーボンというものも視野に入れまして、設計を進めていきたいと思っております。ただ、今この時点で何を取り入れるかということをお願いにいくんですけども、当然環境に配慮した建物になるかと思っております。

桜 男性:ありがとうございます。この体育館も結構寒い状況ですので、子どもたちが凍えることのないようにお願いしたいと思っております。

教育局次長:補足させていただきますと、今作っております新設校等ではガラス窓とかも断熱性の高いものとか、そういったものを使っておりまして、ゼブという風な最近お耳にすることもあるかと思うんですが、そのようなことも検討の一つに取り入れながら、環境に配慮したというところで行ってきたいと思っております。

上ノ室 女性:先ほど、栗原小学校が新しい学校が開校したと同時に、すごく人数が少なくなってしまうというところで、特色を出した小学校づくりということで、他の校区外の子も受け入れるような小学校になるかもしれないという話を聞いた中で、今現在つくば市の中にそういう小学校は無いのかなと

思うので、他市町村の例が書いてあったかと思うんですが、実際にそういった特色を出した小学校作りをしていた市町村の小学校は、他の校区外から来ている児童がどれくらい増えているかというのがわかればお聞きしたいのですが、お願いします。

学び推進課課長:ご質問ありがとうございます。つくば市では先ほど説明させていただいた小規模特認校によって学区を広げてという学校は今のところはありません。小規模特認校にすることで、いわゆる特定の学区以外からの子どもを通学可能ということで、一定数の子どもを確保ということも見込まれるかなとは思っていますが、他の市町村では、実際に小規模特認校ということで、児童生徒数を確保するということに取り組んでいる学校もありません。すみません、私たち調査不足で大変申し訳なかったんですけども、実際に、どの程度、例えば10%増えたとか何人くらい増えたといった具体的な数字までは分かっていないんですが、よく我々もご紹介をいただくんですけども、特色ある教育ができるので、その地域ににあった子どもたちに合わせた教育ができるというところの話は聞いております。申し訳ございませんが、ここまでしかお答えできません。よろしくお願いします。

教育長:私が聞いている学校ではですね、単学級にしかならない、もっと小さい学級にしかならないところが、学年2学級に増えたという学校もあるというふうに私は認識しております。これも実際は本当に様々なんですね。

桜 女性:栗原小が小規模特認校になって、新たなカリキュラムやいろんなことができるということで、栗原小も何をやるか、カリキュラムとかもう既に考えられているのか教えてください。よろしくお願いします。

学び推進課課長:ご質問ありがとうございます。小規模特認校にした場合、どういった教育を行うかといったご質問かなと思いますが、まだ実際に、具体的にどういったことを行うかというところまでは考えていない状況です。この後、実際には3年、4年という年月がありますので、その中で、もう一回よ

く地域を確認した上で、どういった教育が子どもたちに一番ふさわしいかということを検討していかなければならないと思います。よろしくをお願いします。小規模特認校に必ずしますよと決まっているわけではない、そのことも含めてということでよろしくをお願いします。

桜 女性:背景的なことをお聞きしたいんですけれども、つくば市内の北の方の小中ですとか、秀峰筑波では、以前小規模校を統合して廃校したと思うんですが、今回栗原を残すという方針になった背景をお伺いできればと思います。よろしくをお願いします。

学務課課長:今回につきましては、先ほどお話しさせていただいた通り、通学区区域を考えていただいた時に、学区審議会の中で話し合っていたいて、委員さんが、保護者さん皆さんにアンケートとっていただいて、ご意見を承って、このような形で、当然、我々一旦案としてお示しさせていただいた開発区域内に学校用地があるので、開発区域内の通学区区域で出しました。その後の追加については、各委員さんがそれぞれの地域のご意見や保護者の方のご意見を踏まえていただいて、いろんな地区を出していただいたで栗原小につきましては、その中で栗原地区の方々からのご意見も栗原小を残してほしい、近いから、安全に通えるからそのままということもありましたので、今回栗原小も残してあるという形になりましたので、こういった背景で答申をいただいた案と栗原小を残すという形になったということになります。

司会:よろしいでしょうか。それでは本日は多くのご質問、ご意見いただきありがとうございました。本日の報告会資料及び質疑応答内容は近日中にホームページに掲載いたします。本日の説明内容等に関して、さらにご質問やご意見がある場合には、市ホームページの専用サイトにお問い合わせ下さい。なお、専用サイトでお問い合わせいただいたご質問等への回答は、個別回答ではなく、市ホームページ上での公表をもってかえさせていただきますのでご了承ください。本日は、大変お忙しい中、貴重なお時間をいただき、ありが



とうございました。以上を持ちまして、(仮称)中根・金田台地区小学校開校に関する報告会を終了とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

8 閉会